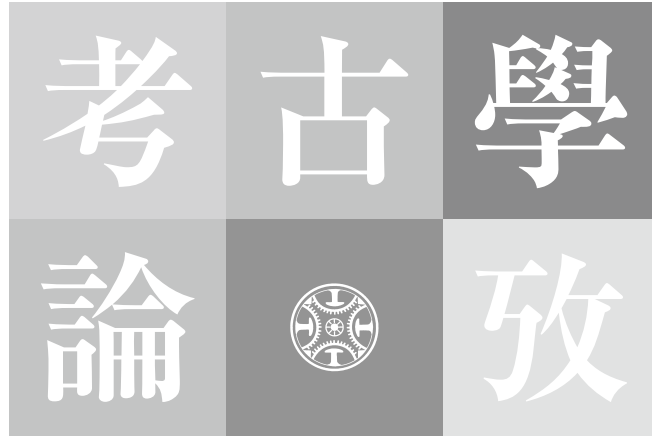


橿原考古学研究所紀要



—— 第 4 3 冊 ——
2 0 2 0

序

これまでの橿原考古学研究所の80年以上の調査・研究の歴史は、奈良県の考古学研究の歴史ともいえます。その歴史を示す成果の一つに昭和26年に創刊した橿原考古学研究所紀要「考古学論攷」があります。所員の常日頃の研究成果の発表の場として、昭和50年代以降は、毎年度1冊の刊行を継続し、本冊子で第43冊目となります。

今回は、巻頭に1981年度に発掘調査され、昨年その出土遺物の再整理報告がなされた『脇田遺跡の研究』の補遺編として、金属器生産関連遺物出土遺物の検討・評価を行った論文、第二に当研究所附属博物館保管の平野窯跡群出土須恵器の資料紹介と関連資料との比較検討、その生産の背景について言及した論文、第三に中国・四国地方の弥生絵画資料集成一覧の提示とそれらの分布・時期・キャンバス・図像を考察した論文、第四に当研究所が保存管理しているユーラシア文化を幅広く見渡した江上波夫コレクションのなかから、金属器を中心に構造・材質分析し、資料の評価を行った論文、最後に当研究所中国人研修員らが執筆したソヴィエト考古学からの中国考古学への影響を学史的に解き明かした論文の日本語訳を掲載しました。

巻頭から第三の論文で行った、出土品の再整理・再評価や資料集成は、考古学の根幹をなすものです。地道な作業ではありますが、今後も当研究所が取り組んでいくべき仕事と考えます。一方で、第四・五の論文のようにグローバルな視野から、研究対象資料を見出し、科学的な分析や学史的な評価を行っていくのも考古学においては重要な姿勢でしょう。研究基盤を固める作業と幅広い視点による研究姿勢を堅持して、橿原考古学研究所は今後の100周年に向けて、さらなる発展を目指し歩んでいく所存です。

令和2年3月19日

奈良県立橿原考古学研究所
所長 青柳正規

目次

序

青柳正規

脇田遺跡出土の金属器生産関連遺物について

— 『脇田遺跡の研究』補遺編その1 — … 真鍋成史 森 貴教 繰納民之 青柳泰介 …1

香芝市・平野窯跡群採集の須恵器 …… 関川尚功 …25

弥生絵画集成—中国・四国編— …… 橋本裕行 …35

奈良県所蔵・江上波夫コレクション資料の材質分析

…… 河崎衣美 水野敏典 小池香津江 卜部行弘 奥山誠義… 59

中国考古学史におけるソヴィエトの影響…… 劉 斌 張 婷 (訳 米川裕治) …69

奈良県立橿原考古学研究所紀要

考古学論攷 第43冊

令和2年3月19日 発行

発行 奈良県立橿原考古学研究所

奈良県橿原市畝傍町1番地

印刷 株式会社明新社

奈良県奈良市南京終町3丁目464

ISSN 0287-9271